

～ リウマトイド因子 (RF) 陽性だったら ～

健診などでリウマトイド因子 (RF) という検査項目がありますが、陽性だったらどうしたらよいか？

RF 陽性の場合下記に示すような病気を考える必要があります。

- ・ 関節リウマチ、シェーグレン症候群などの膠原病
- ・ 感染症
- ・ 甲状腺疾患
- ・ 慢性疾患や癌など

また、上記疾患などなく健常人でも加齢に伴い陽性となることもあります。

健診で RF 陽性だった場合は膠原病・リウマチ専門医が在籍する医療施設へご相談いただき、一度精密検査を受けられることをお勧めします。

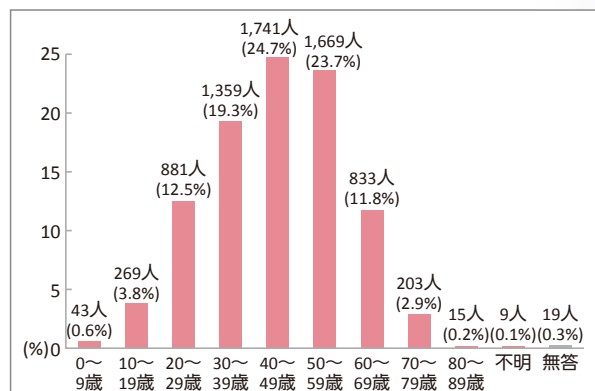
関節リウマチについては RF よりもより高率にかつ関節リウマチを発症する可能性が高いかなども予測できる、特異的な自己抗体 (抗シトルリン化蛋白抗体:抗 CCP 抗体) も知られています。

現在、関節リウマチは早い段階で診断し治療を開始することで関節の変形を防ぐことが可能であったり、日常生活の質を落とすことなく過ごせたりすることが可能となっています。

そこで、今回は簡単に関節リウマチについてご説明いたします。

関節リウマチとは日本人の 0.4～0.5% で発症 (30 歳以上の人口の約 1%) し、30～50 歳代の中老年・女性に多い (男性の 5～6 倍) 病気です。また、最近では高齢者での発症も増加しています。

関節リウマチの症状

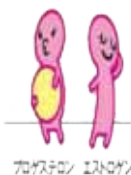


公益社団法人 日本リウマチ友の会 - ウェブサイトより

これらの症状は、**炎症性サイトカイン**が関与していることから現在それらをターゲットとした治療薬も使用され、早期治療により関節の変形や進行を抑えることが可能です。

また明らかな原因は不明ですが、

- ・ 細菌やウイルス感染
- ・ ある遺伝子のタイプを持っていること
- ・ 喫煙や歯周病、女性ホルモン



プロスタグランジン エストロゲン



との関与も知られており、それらが抗 CCP 抗体の産生や炎症性サイトカインを誘発することもわかっています。

◎禁煙や口腔内ケアも大切ですので是非心掛けてみてください！

RF 陽性であったり、関節の痛みや腫れなどが出たり引っ込んだり、または続いたり気になる症状がある場合はご相談ください。



順天堂大学
医学部附属

順天堂東京江東高齢者医療センター

Juntendo Tokyo Koto Geriatric Medical Center

